

接続・設定ガイド

1 置く場所を決める

液晶カラーテレビ

形 名

エル シー エス
LC-40S5
LC-32S5

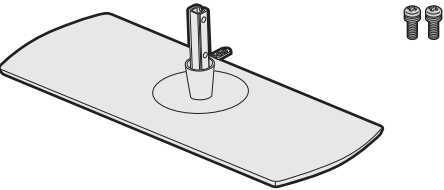
- ・本書は、基本的な接続と設定について説明しています。基本的な操作方法は「取扱説明書」(別冊)をご確認ください。
- ・本機の詳しい説明は取扱説明ガイド(Webで確認)をご確認ください。(取扱説明ガイド(Webで確認)のリンク先については、「取扱説明書」(別冊)をご覧ください。)

もくじ

付属品を確認してください.....	1
1 置く場所を決める.....	2
2 スタンドを取り付ける.....	3
3 リモコンの準備と使いかた.....	4
4-1 アンテナをつなぐ.....	5
4-2 レコーダーなどの外部機器とテレビを接続する.....	7
5 電源コードをつなぐ.....	9
6 転倒防止をする.....	10
7 B-CASカードを挿入する.....	11
8 「かんたん初期設定」をする.....	12

付属品を確認してください

- ・スタンド×1
- ・スタンド取付ネジ×2
- ・B-CAS カード×1



- ・リモコン×1



- ・リモコン用単4形乾電池×2



B-CAS カードの台紙



(2017年6月現在)

- ・開封すると添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。
- ・取扱説明書×1
- ・接続・設定ガイド(本書)×1
 - ・当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
 - ・This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.
- ・保証書×1

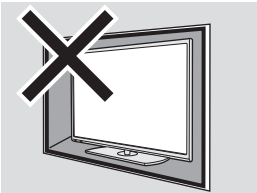
壁掛金具やシステムラック別売品

- ・液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。

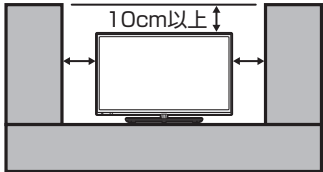
No.	品 名	形 名	対応機種
1	壁掛け金具	AN-130AG1	LC-40S5 LC-32S5
2	システムラック	AN-R600	LC-40S5
3	システムラック	AN-65SR3	LC-40S5

- ・本機に適合する別売品が新たに追加発売されることがあります。また、新たに適合となる別売品もあります。ご購入の際には、最新のカatalogで適合性をご確認いただき、販売店にご相談の上、お買い求めください。(2017年6月現在)

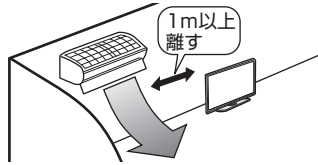
- ・本機は付属のスタンドを取り付けて設置します。(別売の壁掛け金具などを使って設置することもできます。)
- ・以下のような設置のしかたをしないでください。
 - ・風通しの悪いところに入れない
 - ・密閉した箱に入れない
 - ・じゅうたんや布団の上に置かない
 - ・布などをかけない
 - ・極端に温度が高い場所や低い場所には設置しない(使用温度0℃～35℃)
 - ・湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない
- ・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。壁に埋め込む設置や枠で囲むなどの設置はしないでください。



- ・本体の左右及び上部はそれぞれ10cm以上のスペースを空けてください。



エアコンのすぐ下や加湿器の近くなど、水滴のかかる場所への設置はしない



- ・水滴が落ちて内部に水が入ると、火災・感電・故障の原因になります。
- ・エアコンの吹き出し口からは、1m以上離して設置する事をおすすめします。

設置の際には以下の点をお守りください。

- ・傾斜のない、平らな安定した場所に設置してください。すべりやすい面、カーペットなどの柔らかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- ・持ち上げたり、運んだりする場合は、液晶パネルやスピーカーを持たないでください。

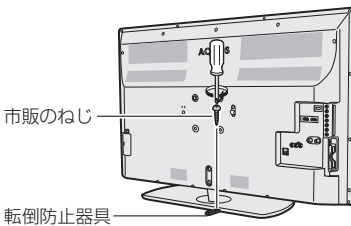
- ・台の上に設置する場合は、本機の重量に耐える、十分な幅と奥行きのある、転倒しにくい台をお使いください。
- ・キャスター付きのテレビ台をご使用の場合、移動するとき以外は必ずキャスター用受皿を使用してテレビ台を固定してください。

設置後は転倒防止を必ず行ってください。

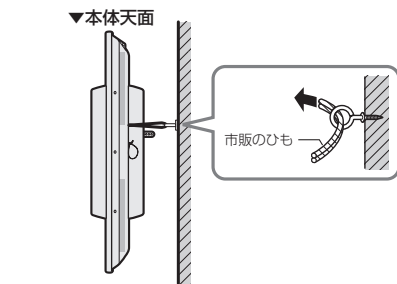
- ・転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

テレビ台などに固定

市販のねじ(1本)を使って取り付けます。



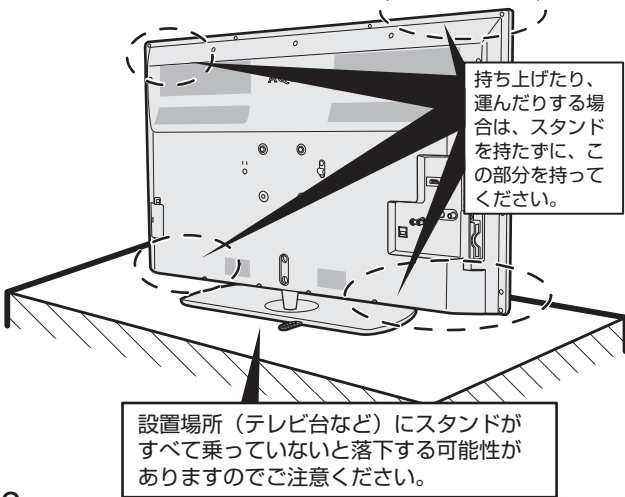
壁などに固定



転倒防止について(⇒裏面10ページ)

◇で注意◇

- ・設置の際は、設置場所(テレビ台など)にスタンドがすべて乗っていることを確認してから手を離してください。



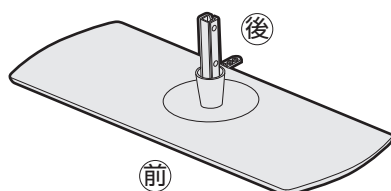
※イラストは、LC-40S5を例に記載しています。

2 スタンドを取り付ける

スタンドの前後について

ネジは、JIS 2番のプラスドライバー（市販品）で締めてください。

電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約1.5N・m(15kgf・cm)に設定してください。

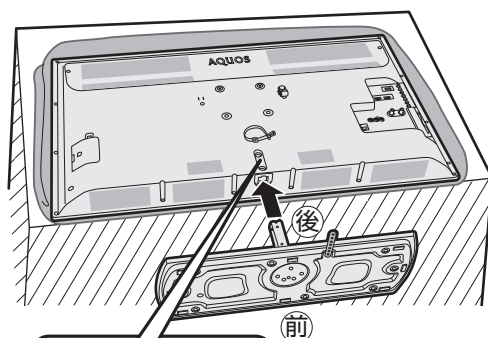


1 本機のディスプレイ部を寝かせる

- ・ テーブルなどの台の上に毛布など厚手の柔らかい布を敷き、その上に本機を寝かせます。
- ・ ケーブルバンドから電源コードを外します。

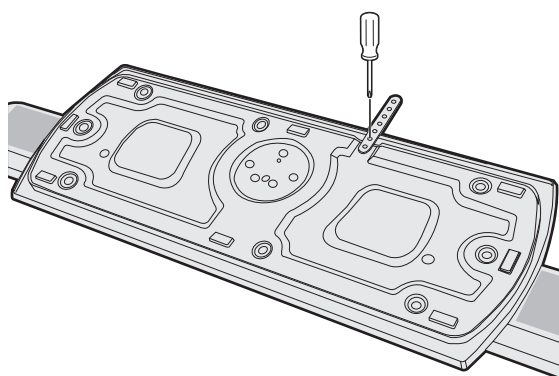
2 ディスプレイ部の底面に付属のスタンドを差し込み、付属のスタンド取付ねじ（2本）で、スタンド背面を固定する

- ・ JIS2番のプラスドライバー（市販品）を使用します。
- ・ 固定後はぐらつきやゆるみがないか、確実にねじが締まっているか、確かめてください。
- ・ スタンドが落ちないように支えながらネジを締めてください。



3 転倒防止器具を使うときは

- ・ スタンドと転倒防止器具を取り付けているネジを外し、転倒防止器具を目的の長さにつけ直してください。（⇒裏面10ページ）



◇ 重 要 ◇

- ・ 持ち運ぶときは、スタンドではなく本体をしっかりと持って持ち運んでください。指などを挟まないよう、ご注意ください。

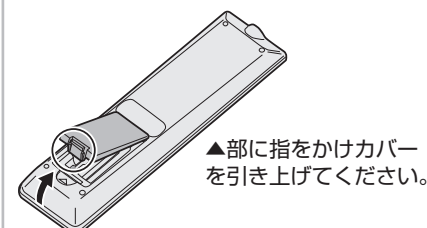
◇ おしらせ ◇

- ・ LC-40S5を例に説明していますが、LC-32S5もスタンドの取り付けかたは同じです。本機を設置する際は、転倒防止を行ってください。（⇒裏面10ページ）

3 リモコンの準備と使いかた

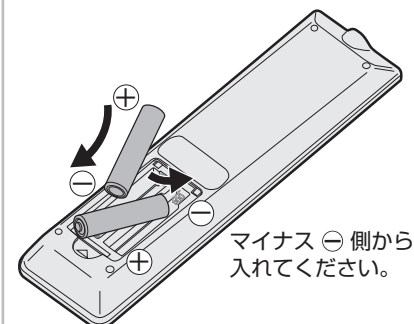
◆ リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏側の電池カバーを開ける

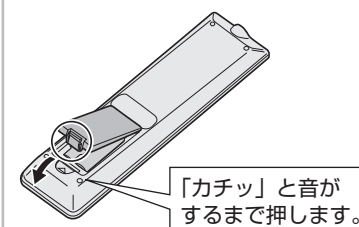


2 付属の単4形乾電池を入れる

- ・ 乾電池が浮かないよう、しっかりと奥まで入れてください。
- ・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 乾電池は、2本とも同じ種類を使用してください。

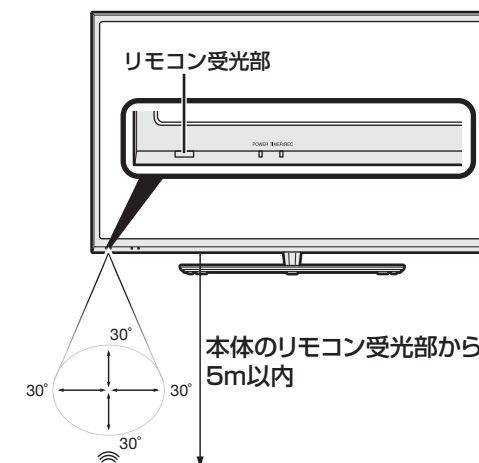


3 電池カバーを元どおりに閉める

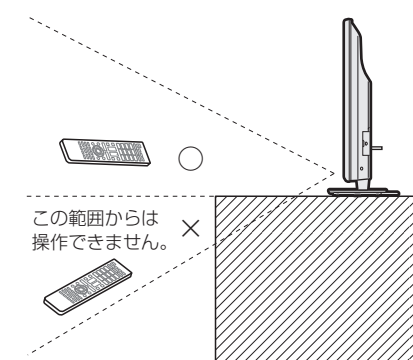


◆ リモコンで操作できる範囲

- ・ リモコン送信の範囲と距離、本体のリモコン受信の範囲と距離を合わせて確実に1個のリモコンボタンを押してください。



設置している台とリモコン操作の位置により、動作しないことがあります。



ご注意

画面下の中央付近に、ぬいぐるみなどの小物を置かないでください。リモコン受光部の妨げになり、動作しにくくなることがあります。

◇ おしらせ ◇

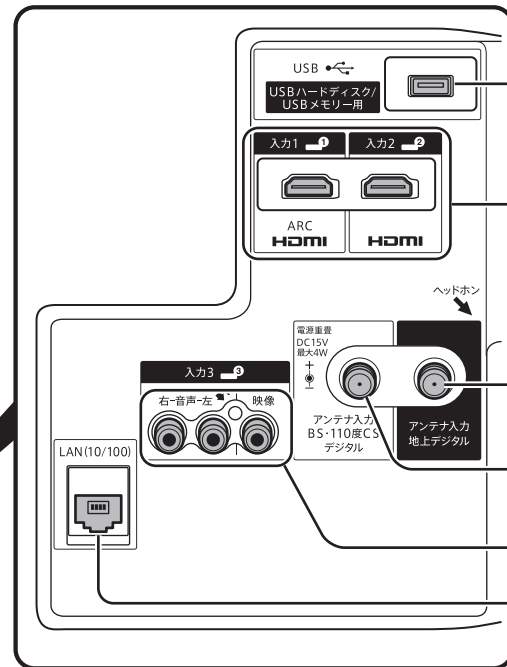
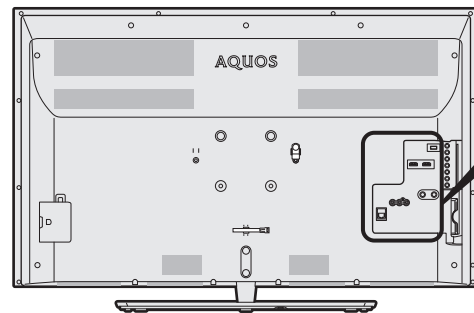
リモコン使用上のご注意

- ・ リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- ・ リモコン番号（⇒「取扱説明書」（別冊）8・10ページ）を設定する機能があるため、リモコンを付属している本機以外のAQUOSでは正しく操作できない場合があります。
- ・ リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。早めに新しい乾電池と交換してください。付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗する場合があります。
- ・ 充電式電池（ニッケル水素など）は使用しないでください。誤動作することがあります。
- ・ リモコンの乾電池は6か月に一度、乾電池からの液漏れや変形などの異常がないかご確認ください。一度液漏れを起こしたリモコンは、正常に動作しない場合があります。

4-1 アンテナをつなぐ

本体各部のなまえ

背面



USBメモリーをつなぐ

USB 端子

HDMI対応機器をつなぐ

HDMI 入力端子 入力1・入力2

アンテナをつなぐ

⇒5～6ページ

アンテナ入力 地上デジタル

アンテナ入力 BS・110度CS
デジタル

入力3 (映像:黄) (音声:赤・白)

LAN 端子
(10BASE-T / 100BASE-TX)

⇒各端子について詳しくは、
「取扱説明書」(別冊)9ページをご覧ください。



注意 接続が終わるまでは、電源を入れないでください。



- ・ケーブルをつなぐときは、スパナなどの工具で強く締め付けしないでください。
- ・アンテナケーブルは、できるだけ太くて短いアンテナケーブルをお使いください。
- ・アンテナケーブルが長くなるほど受信した電波の強度が弱くなります。

地上デジタル／BS・110度CSデジタル放送用アンテナとつなぐ

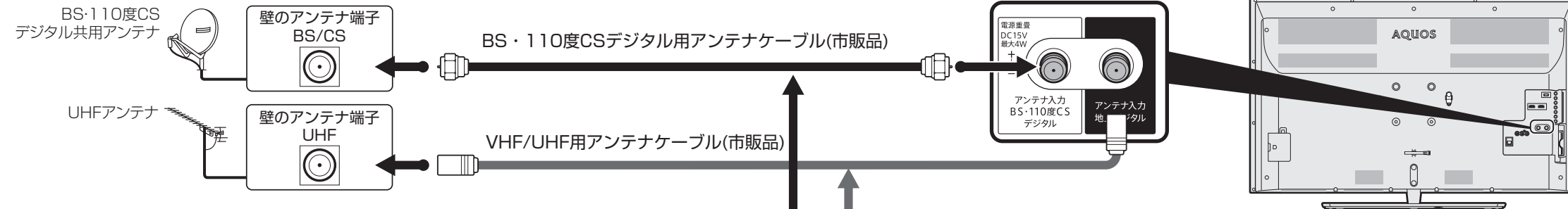
壁のアンテナ端子

アンテナ線を準備する

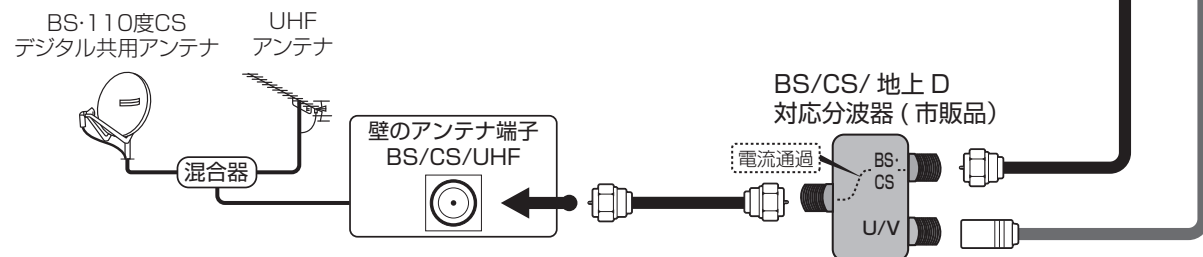
テレビにアンテナ線を接続する

外部機器をテレビと接続する

個別にUHFとBSアンテナを設置(BS/CSとUHFが別々)



マンションなどの共聴システムの場合(BS/CS と UHF が一つ)



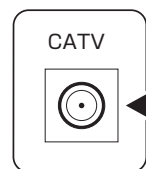
アンテナ接続が済んだら HDMI ケーブルなど、
テレビに接続します。⇒裏面7ページ

ケーブルテレビを見るときは(CATV受信機を接続するときは)

壁のアンテナ端子

アンテナ線を準備する

CATV 視聴環境



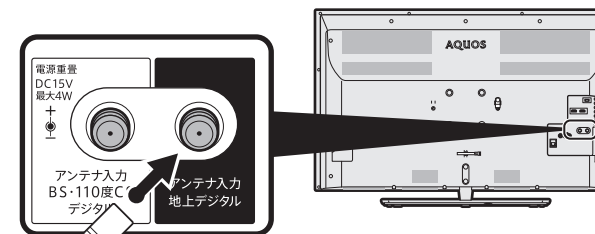
- ・接続については、CATV（ケーブルテレビ）会社にお問い合わせください。

ケーブルテレビ
専用受信機

ケーブル
入力端子

ケーブル
出力端子

テレビにアンテナ線を接続する



テレビの地上デジタルアンテナ入力へ

◇おしらせ◇

- ・CATV（ケーブルテレビ）会社が地上デジタル放送をパススルー方式で再送信している場合は、地上デジタル放送が楽しめます。
- ・本機で受信できるのは、「UHF 帯」、「VHF 帯」、「ミッドバンド（MID:C13～C22）帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23～C63）帯」です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

デジタルチューナー搭載のレコーダーをつなぐときは

壁のアンテナ端子

アンテナ線を準備する

個別にUHFとBSアンテナを設置(BS/CSとUHFが別々)

BS・110度CS
デジタル共用アンテナ



BS・110度CSデジタル用アンテナケーブル(市販品)

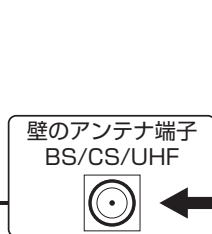
UHFアンテナ



VHF/UHF用アンテナケーブル(市販品)

マンションなどの共聴システムの場合(BS/CS と UHF が一つ)

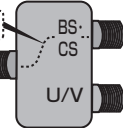
BS・110度CS
デジタル共用アンテナ



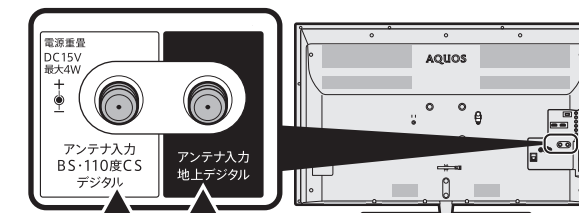
混合器

BS/CS/ 地上 D
対応分波器 (市販品)

電流通過

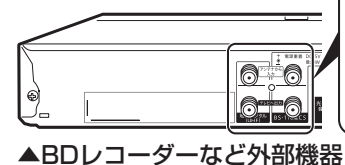


テレビにアンテナ線を接続する



テレビのBS・
110度CS
アンテナ入力へ

テレビの地上デジタル
アンテナ入力へ

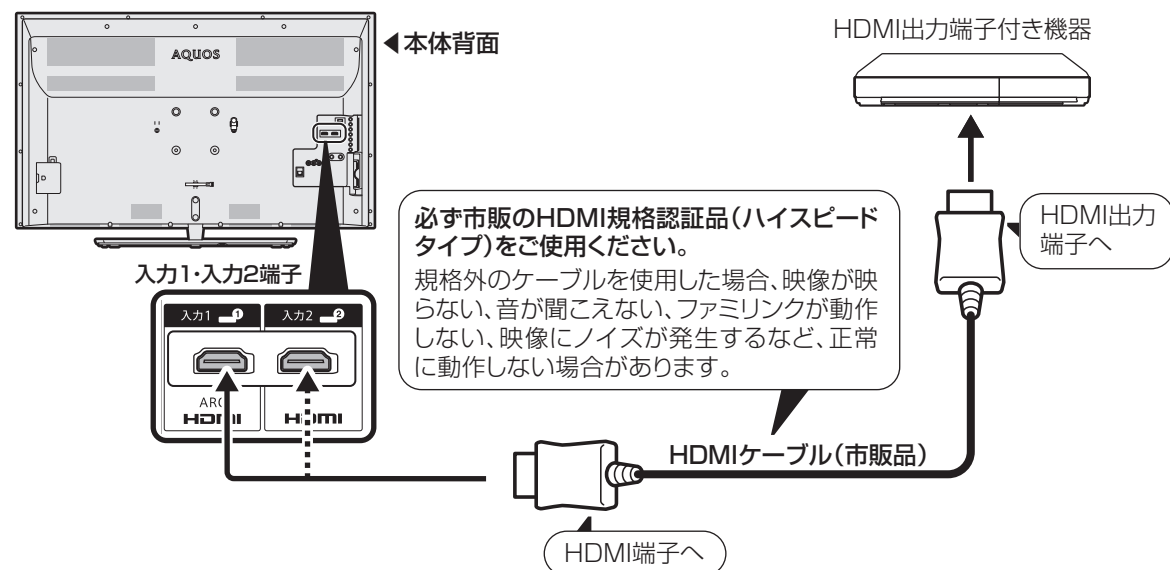


▲BDレコーダーなど外部機器

4-2 レコーダーなど外部機器とテレビを接続する

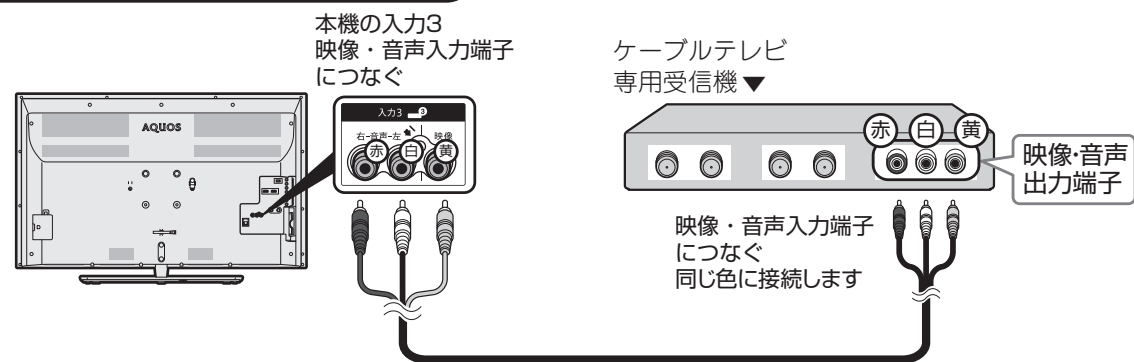
HDMI ケーブルで外部機器を接続

- アンテナ線の接続が済んだら HDMI ケーブルでテレビと外部機器を接続します。



ケーブルテレビを見るときは

- 接続については、CATV (ケーブルテレビ) 会社にお問い合わせください。



◇おしらせ◇

HDMIに対応している映像信号

- 1080p (24Hz/30Hz/60Hz)、720p (30Hz/60Hz)、1080i、480p、480i、VGA

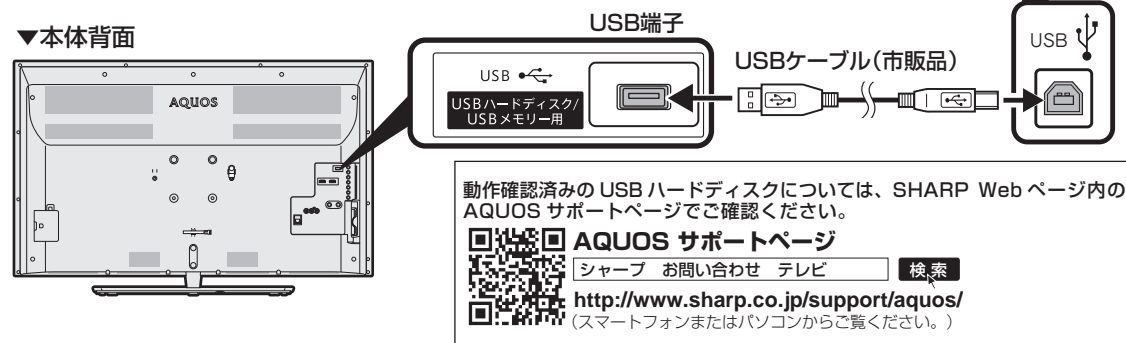
HDMIに対応している音声信号

- 種類：リニア PCM (2ch)、AAC ※
サンプリング周波数：48kHz / 44.1kHz / 32kHz

※デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。
AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声 (5.1 チャンネルサラウンドなど) にも対応できる方式です。

USB ハードディスクをつなぐ

- USB ハードディスクに放送を録画し、再生して楽しむことができます。
※外部機器の映像は録画できません。



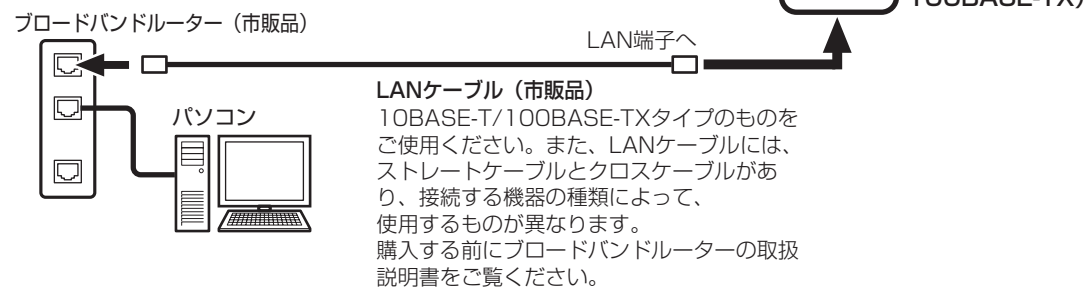
- USB ハードディスクをお使いになるには、本機への登録 (初期化) が必要です。
登録完了後は録画する機器として使用するための設定を行なってください。
設定方法は⇒「取扱説明書」(別冊) 36 ページ

LAN に接続する

- LAN に接続する事で、連動データ放送の視聴者参加型番組に参加できるなど、双方向通信が楽しめます。
- 接続後は LAN 設定が必要です。
LAN 設定は⇒ Webで確認 (リンク先は「取扱説明書」(別冊) の表紙をご覧ください。)

ブロードバンドルーターに接続するときは

ご家庭にブロードバンド環境がある場合は、本機の LAN 端子と接続できます。
通信端末機器認定品の市販のルーターなどを用いて LAN 接続をしてください。



◇おしらせ◇

- 本機には電話回線端子はありません。そのため、電話回線による双方向通信は利用できません。
- 本機ではインターネットは利用できません。

5 電源コードをつなぐ



注意

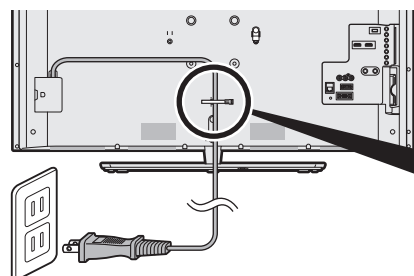
接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

◆ 重要 ◆

- 電源コードのプラグは抜けないように、確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。

本体背面のケーブルバンドの形状をご確認の上、下記手順を行ってください。

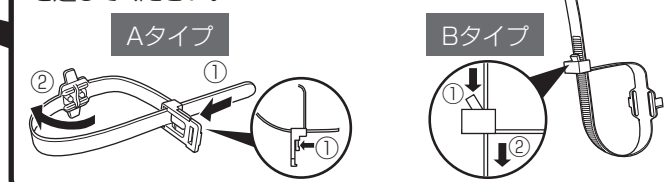
(1) 背面の電源コードの電源プラグを、ご家庭のコンセントに接続する



- 本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

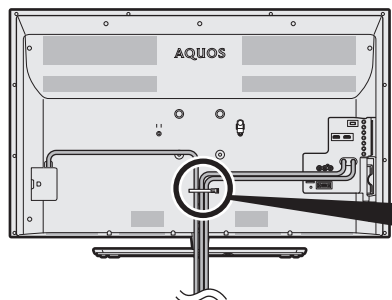
ケーブルバンドを緩めて、束ねたケーブルを取り外してください。

①を押しながら②を矢印の方向に引きます。
束ねたケーブルを取り外したら、ケーブルバンドの輪にケーブルを通してください。



(2) つないだケーブルやコードを固定する

- 本機につないだケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。端子部の負荷を軽減して破損防止を図るために、ケーブル類は必ずケーブルバンドで固定してください。



① 電源コードやケーブルをケーブルバンドで束ねます。
② バンドを穴に通して引っ張り、長さを調節します。



◆ 重要 ◆

- 電源プラグを抜くときは、「電源ボタン設定」(⇒14 ページ)を「モード2」にしてから抜いてください。

録画予約設定時や録画中は本体の電源ボタンで電源オフにしないでください

- 「電源ボタン設定」を「モード2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

本体の電源をオフにすると…

- 予約が実行されません。
- 録画が停止します。

消費電力について

- 本体の電源ボタンで電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されています。

◇ おしらせ ◇

- 本機の電源を切る際、電源が切れるまでにしばらく時間がかかることがあります。（本機内部の情報をメモリーに記憶するための時間です。）

6 転倒防止をする



注意

- 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものではありません。

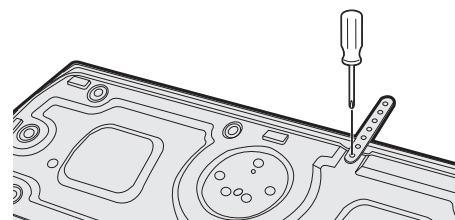
- 転倒防止を行う前にすべての接続を済ませておいてください。

テレビ台などに固定する

1 設置する台などの上に位置決めする

2 転倒防止器具を使うときは

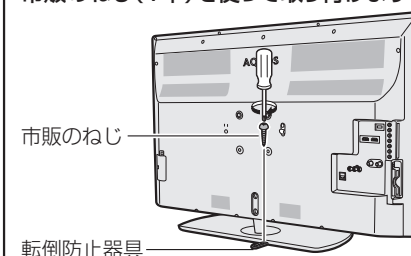
- スタンドと転倒防止器具を取り付けているねじを外し、転倒防止器具を目的の位置に付け直してください。
- 転倒防止器具は、真っ直ぐになるように（曲がらないように）取り付けてください。斜めに取り付ける等、他の部品に乗り上げるような使い方をするとぐらいついたり、テレビ台を傷つけたりすることがあります。



3 市販のねじを使い、転倒防止器具の穴に上からねじを取り付けて固定する

- 市販のねじは、確実に固定できる形状のものを使用してください。
- 転倒防止器具の穴の内径は 4mm です。内径の太さにあったねじを使用してください。

市販のねじ(1本)を使って取り付けます。



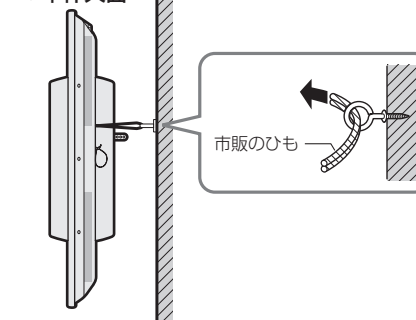
壁や柱に固定する

1 壁または柱に、市販のヒートン(ひもがはすれない形状のもの)を取り付ける

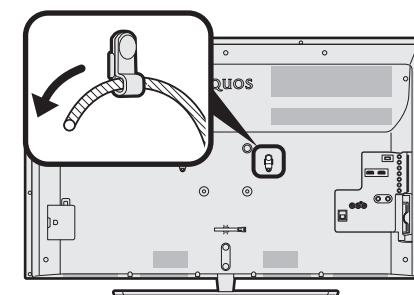
- 取り付けたヒートンが容易にはずれないことを、確認してください。
- 背面のクランプの穴の内径は 5mm です。内径の太さにあったひもを使用してください。

2 クランプと、壁または柱に取り付けたヒートンの穴に、市販の丈夫なひもを通して本機を固定する

▼本体天面



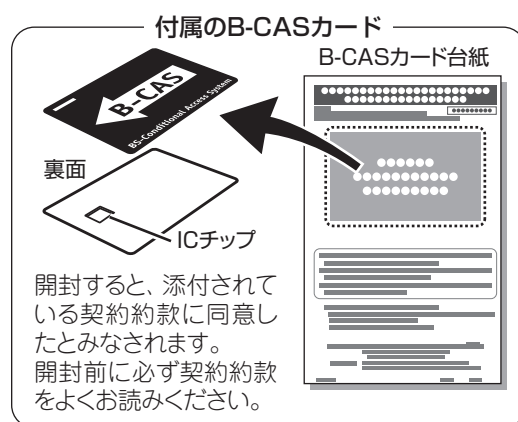
クランプ位置の例



◆ 重要 ◆

- 台の上に設置する場合は、本機の重量に耐えうる、十分な幅と奥行きのある、堅固で転倒しにくい台をお使いください。
- テレビをテレビ用ラックやシアターラックなどの上に置いた際、テレビの転倒防止金具を使用し転倒防止を行うときは、テレビ用ラックやシアターラックなどの説明書をよく確認してから行ってください。商品によっては、ねじの打ち込みが禁止されている、ねじの長さやねじを打ち込める場所が指定されている場合があります。ねじを打ち込む先に電気回路などがあると、ショートして火災・感電・故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 設置する台がガラスや金属など市販のねじで固定できない場合は、壁や柱に固定してください。(⇒上記)

7 B-CAS カードを挿入する



- 1 B-CASカード台紙の内容を読む
- 2 内容に同意の上でB-CASカードを台紙からはずす

B-CAS（ビーキャスト）カードを本機に必ず入れてください。

- B-CAS カードを入れないと、デジタル放送（地上デジタル放送、BS デジタル放送、110度CS デジタル放送）が映りません。
- B-CAS カードには視聴情報などが記憶されます。
- B-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、B-CASカード台紙の説明をご覧ください。

B-CAS カードの抜き差しについて

- B-CAS カードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
- B-CAS カード挿入口には、本機に付属している B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 万一、B-CASカードを抜く場合は、「電源ボタン設定」（⇒14ページ）を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切り、電源コンセントを抜いた状態で、B-CAS カードを持ち、ゆっくりと抜いてください。

B-CAS カードは大切に保管してください。

- 仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料放送を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

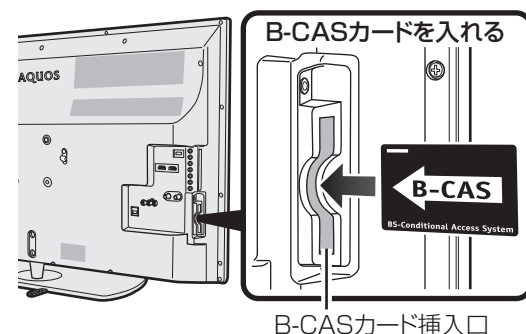
B-CAS カードの取り扱いについて

- 折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしない
- 重いものを載せたり、踏みつけたりしない
- IC チップには触れない
- 分解、加工しない
- 破損などにより B-CAS カードの再発行を依頼する場合は、費用が必要です。詳しくは、B-CAS カスタマーセンターにご連絡ください。

B-CAS カードについてのお問い合わせ先

B-CAS カード カスタマーセンター
電話 0570-000-250
(2017年6月現在)

- 3 B-CASカードを正しい向きで奥までしっかり差し込む



- すべての接続を終えて電源を入れた後、「ホーム」-「設定」-「お知らせ」-「システム動作テスト」を行うと、カード番号が表示され、B-CAS カードが正しく挿入されているか確認できます。

8 「かんたん初期設定」をする

- お買いあげ後、B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面に従って操作・設定してください。

- かんたん初期設定の画面が表示されないときや、引越しなどで設定をやり直すときは
- ホームメニューからかんたん初期設定を行ってください。

選びかたは、「取扱説明書」(別冊) 20 ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例 ▼



- 1 電源を入れる

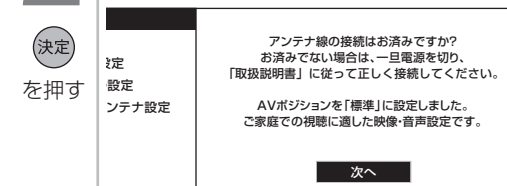
電源コードのつなぎかた

- ⇒ 9ページ

電源の入れかた

- 本体背面の電源ボタンを押すと、POWER（電源）ランプが緑色になり、電源が入ります。

- 2 メッセージを確認して決定する



- 途中で設定を中止するときは、電源をお切りください。

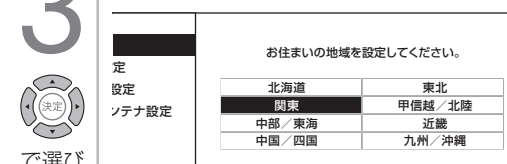
「B-CAS カードを正しく挿入してください。」と表示されたときは

- 電源を切り、⇒11ページの手順に従ってB-CAS カードを挿入してください。

「リモコンと本機のリモコン番号が違うため操作できません。」と表示されたときは

- 「リモコン番号設定」（⇒「取扱説明書」(別冊) 8・10 ページ）を行ってください。

- 3 ①お住まいの地域を選ぶ



- ②お住まいの都道府県または地域を選ぶ

◇ おしらせ ◇

- 設定中に戻るボタンで一つ前の画面に戻れます。

4

1

↓

10

で入力し

決定

を押す

5

決定

で選び

決定

を押す

6

決定

で選び

決定

を押す

郵便番号を入力する

設定 ンテナ設定	お住まいの郵便番号を入力してください。 1 6 2 - 8 4 0 8 次へ
-------------	--

- 「0」を入力するときは **10** を押します。

「する」を選ぶ

設定 ンテナ設定	地上デジタル放送のチャンネル設定をしますか？ 設定しない場合は、「しない」を選択してください。 現在の地域設定は ○○ です。 する しない
-------------	---

- チャンネル設定が終わるまでしばらくお待ちください。
- チャンネル設定が終わると確認画面が出ます。「次へ」を押してください。

「する」または「しない」を選ぶ

- BS・CS アンテナを接続しない場合は「しない」を選び、次ページの手順 **8** に進みます。

設定 ンテナ設定	BS/CSのアンテナを設定しますか？ 設定しない場合は、「しない」を選択してください。 する しない
-------------	--

- 「する」を選んだときは、「BS/CS アンテナ電源自動設定中」の画面が表示されます。次の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

設定 ンテナ設定	BS/CSアンテナ電源を「オート」に設定しました。 受信強度が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。 受信強度 BS-15 現在値 95 最大値 95 受信状態:良好です。[A] 次へ
-------------	---

チャンネル設定の途中で、「地上デジタル放送のチャンネルが見つかりませんでした。」と表示されたときは

- 「電源ボタン設定」(⇒**14**ページ)を「モード2」に設定して本体の電源ボタンでいったん電源を切ってUHFアンテナの接続を確認してください。電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

BS・CS アンテナを接続していないとき

- 「次へ」を選び決定ボタンを押してください。

手順6で「する」を選んだあと、次の画面が表示されたときは

BS/CS番号が検出できませんでした。 手動で再設定するか、一旦電源を切りアンテナ接続を再確認してから再度かんたん初期設定を実行してください。 設定しない場合は、「次へ」を選択してください。 受信強度 BS-15 現在値 0 最大値 0 次へ 手動で再設定

上記の画面で「手動で再設定」を選んだときは

接続確認 地域設定 郵便番号設定 チャンネル設定	受信強度が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。 BS・CS アンテナ電源 オート 入 切
-----------------------------------	---

- 左右カーソルボタンで、BS・CS アンテナに電源を供給するかを選び、決定ボタンを押したあと、「次へ」で決定ボタンを押すと、次ページの手順 **8** の画面が表示されます。

7

決定

を押す

受信状態を確認して決定する

設定 ンテナ設定	BS/CSアンテナ電源を「オート」に設定しました。 受信強度が60以上になるようにアンテナの向きを調整してください。 受信強度 BS-15 現在値 95 最大値 95 受信状態:良好です。[A] 次へ
-------------	---

- 「受信状態：良好です。[A]」と表示されないときは次ページの対処が必要です。

BS・CS アンテナを接続しているとき

- 「電源ボタン設定」(⇒**14**ページ)を「モード2」に設定して本体の電源ボタンでいったん電源を切って、BS・110度CSデジタル用アンテナケーブルの接続を確認してください。(⇒**5**～**6**ページ) 電源を入れ直すとかんたん初期設定の画面が表示されます。

アンテナ接続を変更したときや、移転などでBS・110度CS デジタル用アンテナの電源の設定を変えるときは

- ⇒ **Webで確認**

(リンク先は「取扱説明書」(別冊)の表紙をご覧ください。)

「受信状態：良好です。[A]」と表示されないときは

画面に表示されるメッセージ例	対処のしかた
受信強度が 60 以下です。[B]	受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。
アンテナ信号が強すぎます。[C]	アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が不足しています。[C]	ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。
アンテナ信号が良くありません。[D]	アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。
受信できません。[E]	「電源ボタン設定」(⇒ 右記)を「モード2」に設定して本体の電源ボタンでいったん電源を切り、アンテナの設置やアンテナ線を確認してください。(⇒ 5 ～ 6 ページ)

8

決定

で選び

決定

を押す

9

決定

を押す

設定された内容を確認し、間違いがなければ「完了」を選ぶ

メッセージを確認して決定する

- これで設定は完了です。
- 映りかたを確かめましょう。
- 放送が受信できないときは⇒「取扱説明書」(別冊)**50**ページ

電源ボタン設定と POWER (電源) ランプについて

- 本機は、予約録画やタイマー機能の失敗を防止するための「電源ボタン設定」があります。

初期設定 (モード1)	本体の電源ボタンで電源を切っても POWER (電源) ランプは消えません。赤色点灯 (待機状態) となります。誤って本体の電源ボタンで電源を切ってしまうと予約録画やタイマー録画が動作する設定となっております。予約録画やタイマー機能を使用する場合は「モード1」の設定をおすすめします。
モード2	本体の電源ボタンで電源を切ると POWER (電源) ランプが消えます。POWER (電源) ランプが消えた状態では、予約録画やタイマー機能は実行されません。「モード2」で予約録画やタイマー機能を使用する場合は、必ずリモコンで電源を切ってください。

- 電源ボタン設定は以下の手順で変更できます。ホームメニューから「設定」－「**視聴準備**」－「各種設定」－「電源ボタン設定」で設定します。



無信号オフについて

- 本機は、テレビ放送終了後など、番組が映らない状態になると約 15 分後に電源がオフになるよう設定されています。設定を解除する場合は、設定メニューの「**安心・省エネ**」－「無信号オフ」で「しない」に設定してください。

時計の表示について

- 常に時計を表示させる、または表示しないようにするには、「設定」－「**機能切換**」－「画面表示設定」－「時計／画面表示設定」－「時計表示」で設定します。